

DeSC ヘルスケア、「OMOP 変換データ」の提供サービスを開始

～ 日本の医療データを世界標準化し、国際共同研究を促進 ～

株式会社ディー・エヌ・エーのヘルスケア事業の中核を担う株式会社データホライゾン(本社:広島県広島市、代表取締役社長兼 CEO:瀬川 翔)の子会社、DeSC ヘルスケア株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:瀬川 翔、以下 DeSC ヘルスケア)は、医療リアルワールドデータ (以下、「RWD」) 事業を展開する株式会社 Yuimedi (本社:東京都中央区、代表取締役:グライムス英美里、以下「Yuimedi」) と協業し、保険者データを世界標準の共通データモデル「OMOP CDM」※に変換した「OMOP 変換データ」の提供を開始したことをお知らせします。

【本協業の背景と目的】

健康・医療分野における RWD の活用は国内外で加速していますが、データ形式の多様化により複数データベースの横断分析や海外との連携には課題があり、国内でも OMOP 変換へのニーズが高まっています。

本協業では、DeSC が展開する DeSC データベースを、OMOP 変換において国内有数の技術と実績を持つ Yuimedi が「OMOP CDM」形式へ変換し提供するサービスを開始します。これにより、これまで困難だった横断的かつ専門的な分析や、日本の健康・医療データの国際的な活用が可能になります。

※ OMOP CDM (Observational Medical Outcomes Partnership Common Data Model): 国や医療機関ごとに異なる医療データを世界共通の形式に変換するためのデータモデル。これにより、国際的な共同研究や大規模なデータ分析が可能になる。

今後とも DeSC ヘルスケアは、健康・医療分野のリアルワールドデータを活用した研究を支援し、エビデンス創出を促進することで生活者の健康寿命の延伸と医療費適正化の課題解決に貢献していきます。

DeSC ヘルスケア株式会社について

DeSC ヘルスケアは、株式会社ディー・エヌ・エーのヘルスケア事業を担うグループ会社として、健診・レセプト（医療機関受診履歴）・ライフログなどの多種多様な健康・医療情報を活用し、生活者の健康増進および社会全体の医療課題の解決に取り組んでいます。保険者支援サービスやヘルスケアアプリ「kencom®」などを通じて、データドリブンなヘルスケアソリューションの提供を進めて参ります。

株式会社 Yuimedi について

「データを通じて必要な医療を必要な患者さんへ届ける」をミッションに 2020 年設立。医療データの国際標準規格「OMOP CDM」への変換を中心とした RWD 標準化における専門技術を有しています。国ごとに異なるデータ形式の壁を撤廃することで、製薬企業やアカデミアの国際共同研究を可能にし、グローバルなエビデンス創出を支援。日本の貴重な医療データ資産を世界に繋ぎ、医療全体の発展に貢献しています。